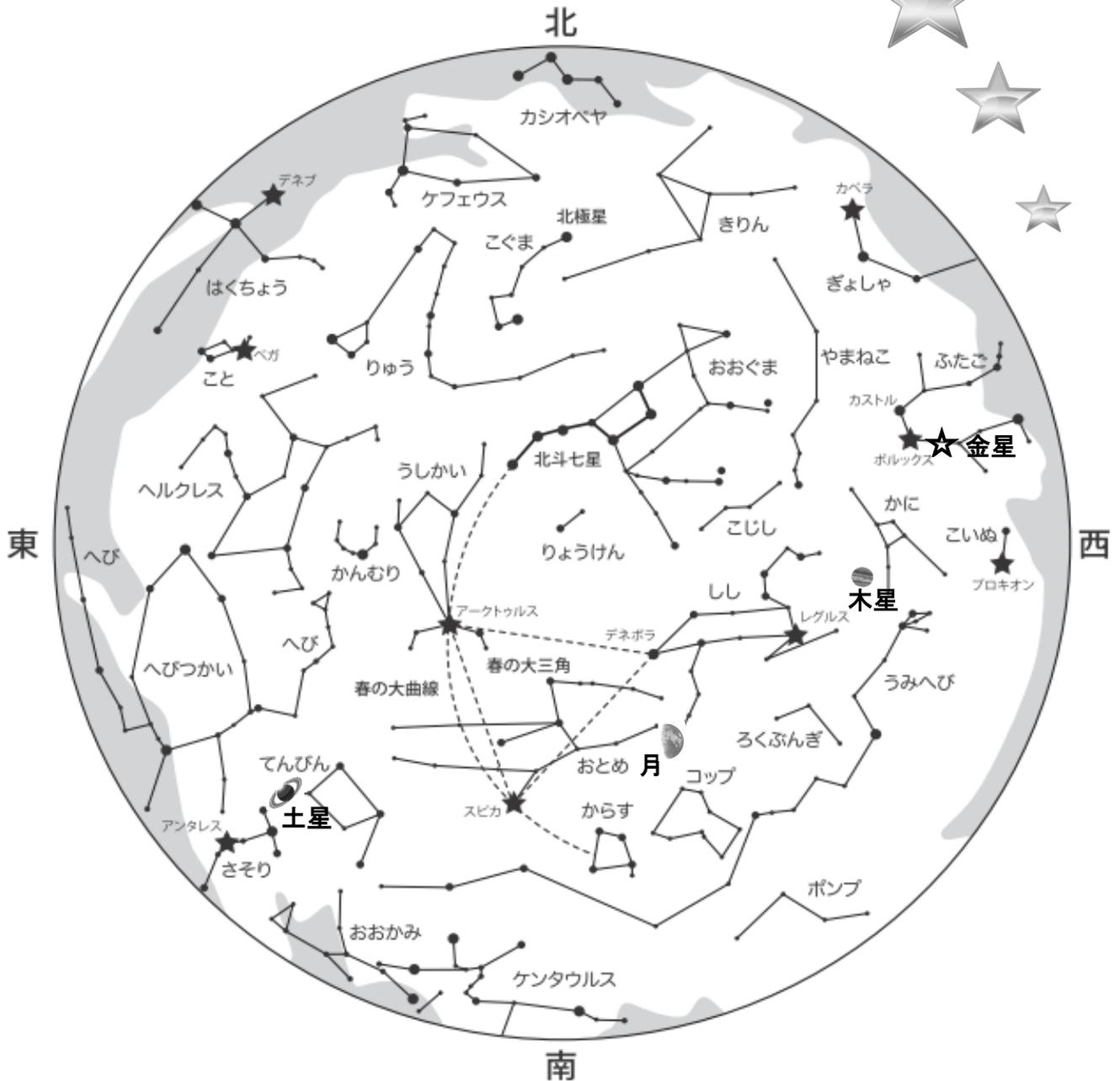


松江市立天文台～5月の天文教室～

平成27年 5月27日

5月下旬午後8時頃の星空～



ずいぶんと日が長くなり、午後8時でも薄明が残っていますが、暮れてゆく西の空では、金星と木星が輝きを競っています。

冬から春にかけて夜空を飾った木星は段々と夕暮れとともに沈むようになり、観測が難しくなりますが、入れ替わるように、東の空に土星が姿を見せ始めて、これから観測の好機を迎えます。

5月下旬午後8時頃の星空です。

月、金星、木星及び土星の位置は5月27日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみました。

今夜の月



今夜の月は半月を少し過ぎた月齢9です。
双眼鏡でも良く見えますが、小型の天体望遠鏡では、クレーターなど迫力ある表面の地形を観察できます。

金星



金星は、地球の内側を回る惑星です。地球との位置関係で月のような満ち欠けをします。
望遠鏡で見える今の金星は、ちょうど半月の形で白く輝いています。

木星

木星は、太陽系最大の惑星で、その直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。
今夜は木星に一番近いイオと、3番目に近いガニメデが接近して見えています。

小型天体望遠鏡で見た木星

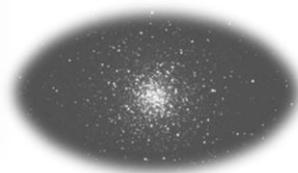


うしかい座



うしかい座は、となりのおおぐま座の熊を追いかける猟師のような姿で描かれていますが、その人物の正体は古い星座にも関わらずはっきりとしません。
α星のアークトゥルスは、1等星の約2倍明るく、オレンジ色に輝く星で、春の夜空では良く目立ちます。
この星座には、いくつかの2重星がありますが、特にε(イプシロン)星は、二つの星がサファイアとルビーに例えられる美しい2重星で、プルケリマ(最も美しい星)の名前が与えられています。

球状星団M5



M(メシエ)5は、へび座にある代表的な球状星団のひとつです。
小型の望遠鏡で、中心が明るく周辺がぼやけたように見え、大きな望遠鏡になるほど星が集まった様子が観察できます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 6月24日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会